

テーマ2 子育てしやすい環境づくり

【まちづくりの目標像】 みんなで子育て！～子どもからお年寄りまで、育ち、育てる四街道～

課題	対策	市の役割	市民の役割	団体等の役割
課題1 みんなで子育てしやすいまちづくり	対応策1 市民の健康に配慮したまちづくりを進める	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で元気に子育てを行うための子育て健康プログラムを作成する。 ・通学や通勤に自転車を利用しやすいまちづくりを推進する。 ・安全に自転車に乗れるロードマップを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の健康づくりの知見を活かした地域での子育てを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングを推奨するために、景品提供等を行い、市内スタンプラリーのイベントを開催する。
	対応策2 子供の安全・安心を守る取組を支援し、拡大する	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の通学時の安全見守り等を行う地域ボランティアに対する活動支援を行う。 ・警察等の防犯活動の強化を要請するとともに、連絡体制を強化する。 ・災害時に避難場所として利用できる井戸の把握等、災害時の井戸の活用を検討する。 ・自転車通学路の安全性を確保する。 ・防犯灯等設置に協賛金を募る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の危険箇所や危険情報を把握し、市に伝える。 ・防災イベントに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の通学時の安全見守り等に対する活動拡大に努める。 ・地域の危険箇所や危険情報を把握し、マップを作成し、市民に周知する。
	対応策3 歴史資源を活かした子育てを推進し、郷土愛を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設を活用し、子供のための郷土歴史館をつくる。 ・市民団体等と連携し、歴史資料を作成する。 ・「放課後子ども教室」の活動を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と地域の子供とのコミュニケーションを図る。 ・地域の歴史を学び、教え合う。 ・市内を散策し、市のことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業も地域の歴史や地勢等の資料作りにボランティアで協賛する。 ・地域で集まる場所を企業が提供する。
	対応策4 農地や森林等の自然を活かした子育てを推進する	<ul style="list-style-type: none"> ・四街道市の豊かな自然を、職業体験等に活用する。 ・四街道市のおいしい水をPRする。 ・地域の地域資源（民地）の存続の取組を進める。 ・地産地消を推進し、子供の郷土愛を育む。 ・豊かな自然・農業を活かし、市外の校外学習等を積極的に引き入れる活動を進め、子育てで有名なまちにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然を守る（「地域に桜の木が何本ある」等自然に興味をもつ） ・中学生、高校生に対する農林業等の伝承の機会を確保する。 ・動植物を観察することで、市への愛着を育む。 ・農家は、自営の野菜を市内で売り、市民は買う。 ・貸し農園や遊休農地を借りて親子で農作物をつくる。中高年者のノウハウを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい取組として「四街道マイスター」等地域のコンシェルジュを推進する。 ・四街道市の豊かな自然をPRする。
	対応策5 事業所や店舗においても子育てに協力する取組を進める	<ul style="list-style-type: none"> ・授乳やおむつ替えができる公共施設や民間施設の認定を推進する。（事例：千葉市「赤ちゃんの駅」、板橋区「赤ちゃんステーション」） ・子育てに協力する市内の事業所や店舗を支援する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所や店舗に託児所等を確保する取組を進める。 ・事業所は、子育て世帯に休暇を与える取組を進める。 ・子育てイベントに協賛金等を提供する。
課題2 地域・家庭・学校が一体となった子育て環境づくり	対応策1 いじめ、不登校のない学校づくり、支援が必要な子供のケアを進める	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ、不登校、子供の貧困（子供食堂）、学習のケア（寺子屋）等、特別の部署だけではなく、市全体で地域住民や保護者と検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ、不登校のない学校づくりに向け、地域住民や保護者が協力する。 	
	対応策2 学校の安全対策を充実する	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の安全対策として、校内にカメラの設置を検討する。 ・子供の防犯・安全対策に関する金銭的支援を検討する。 		
	対応策3 学校施設の統廃合・有効活用を推進するとともに、学校教育へ市民や団体の参画を進める	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の統合（旭中学校区3小学校の統合、千代田中学校区の完全小中一貫校）を進める。 ・学校の余裕教室を市史等の収蔵室等に活用する。 ・学校の余裕教室、特別教室等を活用し、自立支援のための料理教室（定期的に家庭科室で基本的な食事づくり等）を進める。 ・地域活動と連携し、開かれた学校づくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の教育体制を高めるために、市民が参画する。 ・高齢者の知恵を活かし、学校現場で子育てを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「寺子屋」のような子供の学習支援、体験学習の場を推進する。
	対応策4 市の歴史文化を継承する機能を確保し継承活動に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化を継承するため、公共施設を活用し推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自慢できる郷土をつくる。 ・市民学芸員（ボランティア）を活用し、歴史文化を継承する。 	
	対応策5 市・学校・PTA・地域の連携強化を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・市、学校、PTA、地域において、コミュニケーションのシステムをつくり、連携を強化する。 ・地域コーディネーターを各学校に配置する。 ・地域コーディネーターの役割をPRする。 ・子育て支援や学校活動に高齢者を活用する。 ・ボランティア活動の全体を把握し、地域差の解消に努める。また、ボランティア活動の技能向上を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市、学校、PTA、地域において、コミュニケーションのシステムをつくり、連携を強化する。 ・地域コーディネーターの役割、PTA・地域との関係等を確認する。 ・地域コーディネーターでネットワークをもち、役割を活かせるような情報共有を進める。 ・高齢者等の部活動指導者等への参加を進める。 ・リタイヤした方を活用した子育て支援ビジネスを育成する。 	
課題3 シンボルとなる取組「四街道子育て3箇条」でPR	対応策1 子育てに重点を置く年齢層を「乳児」「幼児」「児童」とし、対象ごとの取組を別々のプランとして取りまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに重点を置く年齢層を児童福祉法に基づく「乳児」「幼児」「児童」に分けて、対象ごとの取組を別々のプランとして作成する。 ◎「乳児」…生後1年未満の者。 ◎「幼児」…満1歳から小学校入学前の未就学児。 ◎「児童」…18歳未満。 		
	対応策2 子育てに関し、市、市民、市民団体、大学等との連携を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに対する取組は、市、市民、市民団体、大学等多様な主体が行っているが、その取組の全てが見えにくい。そのため、子育てに関する活動内容等の情報を共有し、体制を整える。 		
	対応策3 子育てに関する多様な組織が作成した資料やマップ等を一覧表に集約し、有効活用を進める	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関する様々な資料は、有効活用されていないケースが多い可能性がある。そのため、昔の資料や、市民、市民団体、大学等が制作した資料を一覧表にわかりやすく集約し、子育てに役立てる。 		